
平成27年度第2四半期 決算説明会資料

平成27年11月4日

日新製鋼株式会社

当社の状況

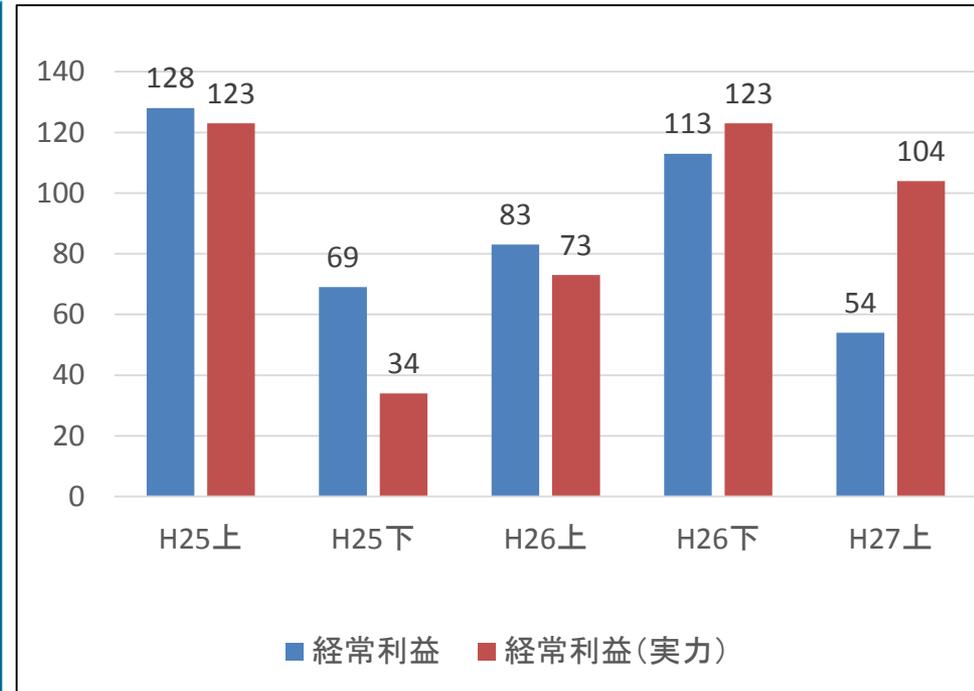


業績の状況

平成27年度上期の状況

- ✓ 国内経済は緩やかな回復傾向が続き、需要家に持ち直し感が見られるものの、鋼材在庫の水準は依然として高い状態が継続
- ✓ 海外では中国の減速感が鮮明化しており、過剰生産による鋼材の流出が急増するなど、輸出環境は非常に厳しい状態
- ✓ このような環境の下、当社グループは24号中計各施策を積極的に推進。原料価格の下落等の影響により決算ベースの経常利益は54億円となったものの、在庫評価を除く実力ベースでは104億円の経常利益を確保

経常利益推移（億円）



	H25年度			H26年度			H27年度
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期
売上高	2,703	3,061	5,764	3,108	3,067	6,175	2,767
経常利益	128	69	197	83	113	196	54
うちステンレス	65	5	70	10	25	35	△40
在庫評価	5	35	40	10	△10	0	△50
経常利益(実力)	123	34	157	73	123	196	104

24号中計の進捗状況について

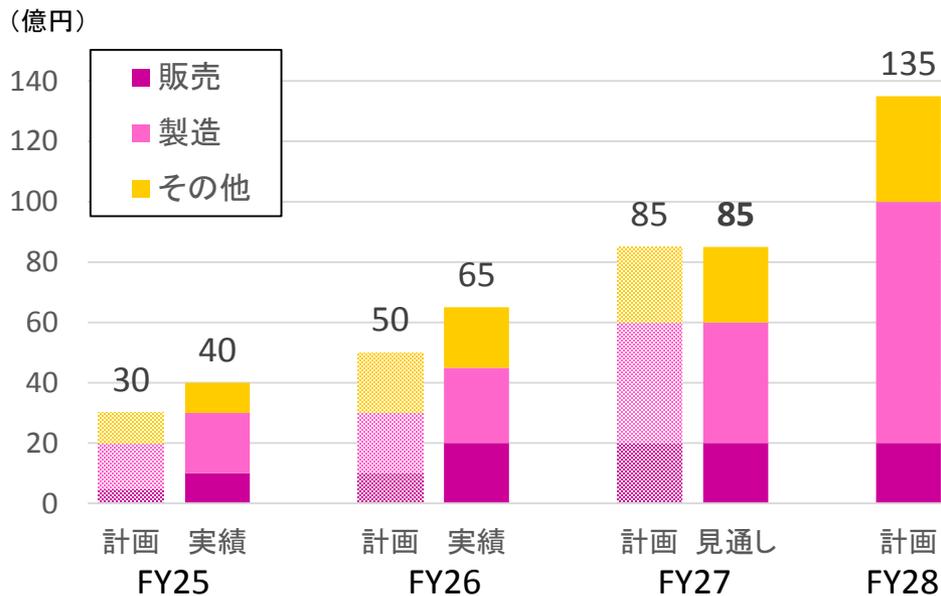
◇ 統合シナジーの最大化

- ・衣浦製鋼休止による製鋼統合を目前に控え、シナジー最大化に向けて全力を傾注
- ・現時点では、期初計画通り通期で85億円のシナジーを確保する見通し

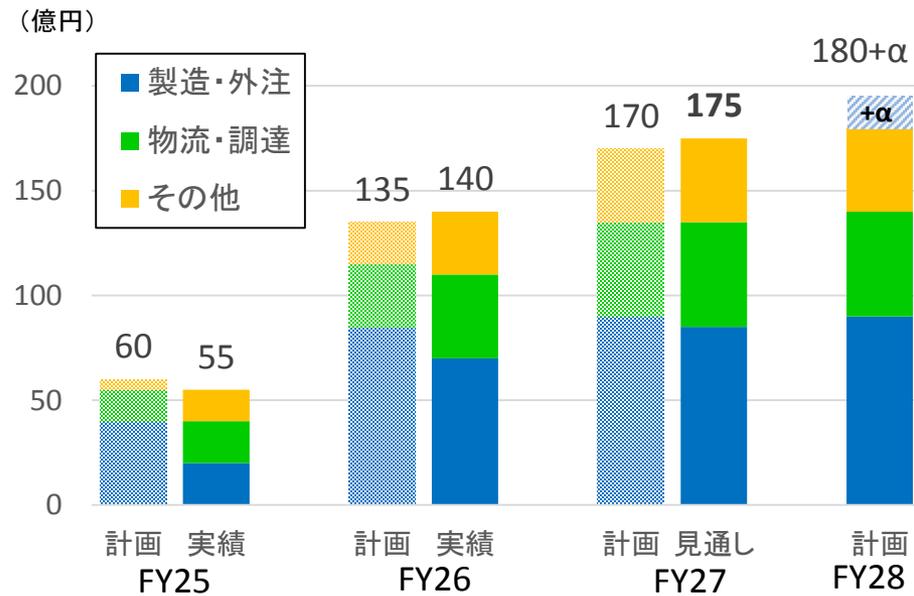
◇ 合理化・総コスト削減プロジェクト

- ・厳しい需要環境が続く中、合理化・総コスト削減活動を全社一丸となって推進
- ・その結果、期初計画の170億円に対し、現時点で通期175億円程度に拡大する見通し

統合シナジー



合理化・総コスト削減



24号中計の進捗状況について

◇ ステンレス製鋼統合の進展

- ・ 当初の計画通り順調に進捗。11月中には重複操業を解消し、製鋼統合シナジーを本格化する予定
 - 平成27年4月20日 周南新製鋼 ホットラン開始
 - 平成27年7月21日 周南新製鋼 竣工式開催
 - 平成27年11月中 衣浦製鋼休止(予定)

周南新製鋼



竣工式（平成27年7月21日）



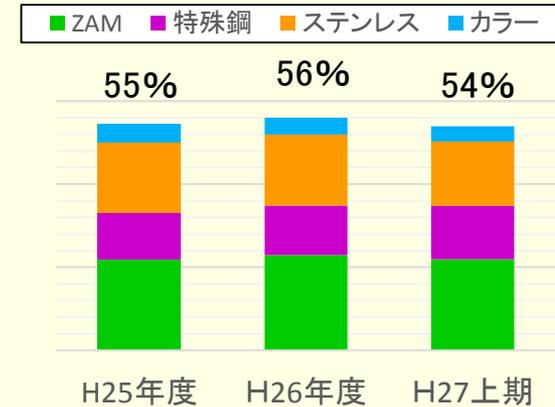
24号中計の進捗状況について

◇ コア製品比率

・上期は需要見合いの生産・販売を継続した結果、鋼材全体の販売数量が減少。そのような状況下、コア製品の販売に注力した結果、コア製品比率は高い水準を維持

- ZAM : 数量減も、比率は依然として高い水準を維持
- 特殊鋼 : 全体の数量が減少する中、高水準の数量を確保
- カラー鋼板 : 数量減も、比率は昨年度並みの水準を確保
- ステンレス : Ni価格の急落等の影響により、店売り・輸出を中心に数量が減少。比率も微減

[コア製品比率(数量ベース・実績)]



◇ コア製品の多層化 ・ 成長市場への取り組み ・ グローバル事業体制の構築

- ・ 特殊鋼 : 呉取鍋精錬炉(LF)竣工、本年10月より営業生産開始
 - 高純度鋼を新たな武器に、新商品・市場開発を推進
 - 中国特殊鋼事業と有機的に連携

[浙江日新華新頓精密特殊鋼有限公司 (本年10月撮影)]



[呉LF竣工式(平成27年9月30日)]



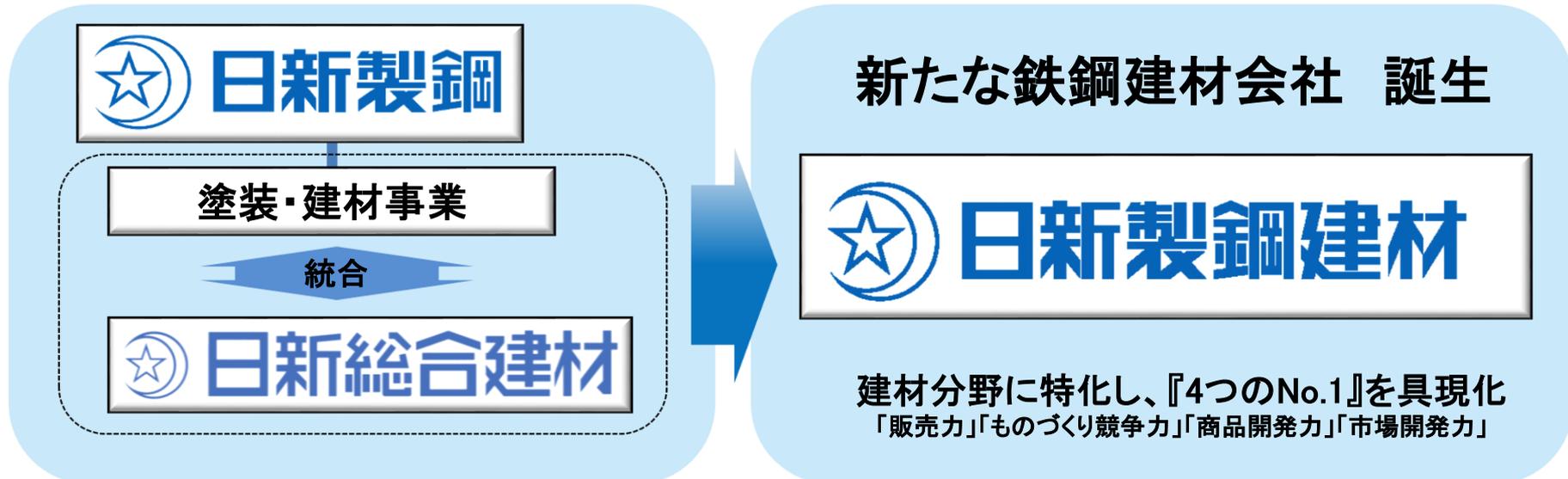
24号中計の進捗状況について

◇ 市況に柔軟に対応ができる生産体制構築、設備の最適化

- ・日新製鋼ステンレス鋼管(株)衣浦工場を休止、尼崎工場に生産集約
 - － 生産性の格段の向上と、さらなるコスト競争力の強化を実現

◇ グループ一体での川下戦略の展開 / グループ事業の再構築

- ・新鉄鋼建材会社『日新製鋼建材株式会社』を平成28年4月1日に発足(予定)
 - － 当社創業事業である「塗装・建材事業」を独立させ、日新総合建材とのグループ内経営統合を実施



株主還元

- ・ 中間配当を復配し、一株当たり15円の配当を実施する予定
- ・ 期末配当は利益に応じた配当の実施という基本方針に基づき今後決定

【利益配分に関する基本方針】

連結業績に応じた適切な剰余金の配当を実施していくことを基本に、企業価値向上に向けた今後の事業展開に必要な内部留保の確保および今後の業績見通しを踏まえつつ、安定的な株主還元を実施

業績見通しと今後の取組み

【業績見通し】

原料価格の下落による在庫評価や販売単価への影響、需要見合いの生産・販売の継続等を織り込み、通期の連結売上高を5,610億円(7月公表時 5,770億円)、連結経常利益を95億円(同 120億円)、実力ベースの連結経常利益を180億円(同 185億円)に修正

【今後の取組み】

- ・ 成長ステージにおける24号中計諸施策の実行および構造改革の推進
 - 周南旧製鋼および衣浦製鋼の確実な休止と新製鋼一本化による統合シナジーの最大化
 - 合理化・総コスト削減活動の着実な推進
 - 戦略投資の早期戦力化による確実な果実の刈り取り
 - 塗装・建材事業の強化等に向けた構造改革
- ・ 財務体質の強化に向けた収益の確保および資産圧縮活動の推進

平成27年度 第2四半期決算の概要



平成27年度第2四半期決算

(億円)

	No	H27年度上期			H26年度	H27年度	
		4-6月 (実績) a	7-9月 (実績) b	(実績) c	上期 (実績) d	上期 (前回予想) e	
売上高	1	1,372	1,395	2,767	3,108	2,800	
営業利益	2	10	53	63	89	50	
経常利益	普通鋼・特殊鋼	3	38	56	94	73	85
	ステンレス	4	▲ 20	▲ 20	▲ 40	10	▲ 40
	計	5	18	36	54	83	45
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6	12	8	20	52	25	

差異		
① c-d	② b-a	③ c-e
▲ 341	23	▲ 33
▲ 26	43	13
21	18	9
▲ 50	0	0
▲ 29	18	9
▲ 32	▲ 4	▲ 5

在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	▲ 10	▲ 10	▲ 20	▲ 15	▲ 20
	ステンレス	8	▲ 15	▲ 15	▲ 30	25	▲ 25
	計	9	▲ 25	▲ 25	▲ 50	10	▲ 45

▲ 5	0	0
▲ 55	0	▲ 5
▲ 60	0	▲ 5

<実カベース>

経常利益	普通鋼・特殊鋼	10	48	66	114	88	105
	ステンレス	11	▲ 5	▲ 5	▲ 10	▲ 15	▲ 15
	計	12	43	61	104	73	90

26	18	9
5	0	5
31	18	14

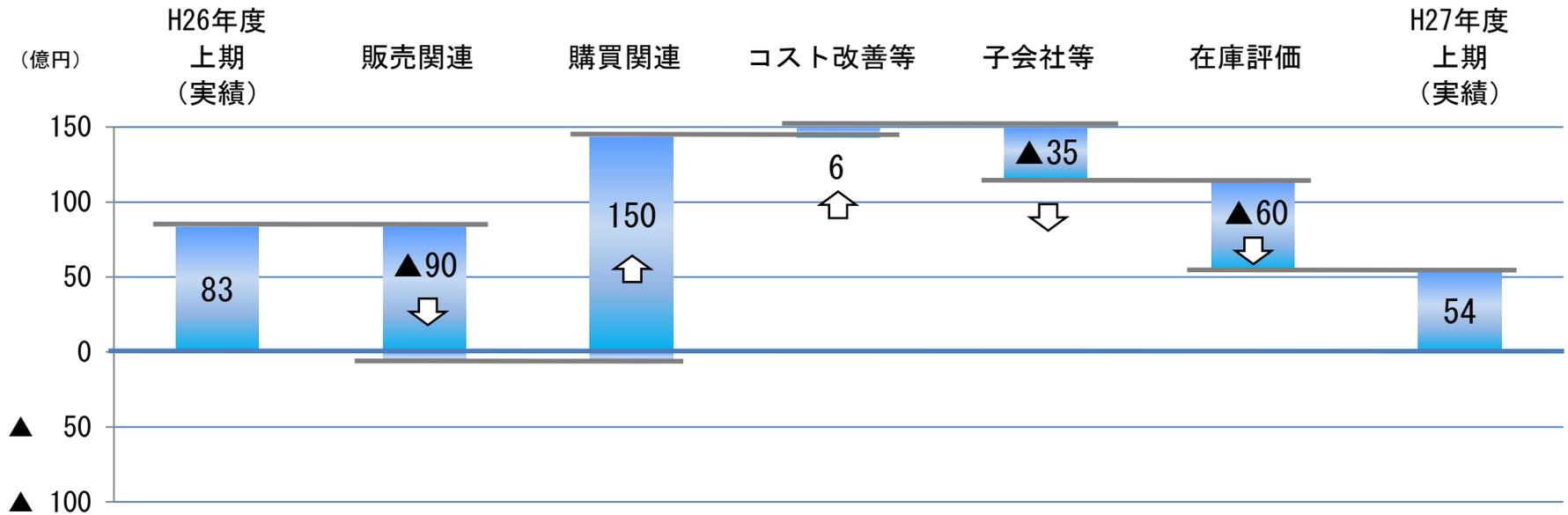
平成27年度第2四半期諸元

		No	H27年度上期			H26年度	H27年度
			4-6月 (実績) a	7-9月 (実績) b	(実績) c	上期 (実績) d	上期 (前回予想) e
粗鋼生産量 (万ト)	普通鋼・特殊鋼	1	79	79	158	168	160
	ステンレス	2	15	19	34	39	35
	計	3	94	98	192	207	195
販売数量 (万ト)	普通鋼・特殊鋼	4	74	76	150	160	148
	ステンレス	5	12	13	25	32	26
	計	6	86	89	175	192	174
鋼材平均単価 (千円/ト)		7	124	120	122	127	123
輸出比率 (金額ベース, %)		8	17	16	16	17	17
輸出為替レート (円/ドル)		9	121	122	122	103	121

差異		
① c-d	② b-a	③ c-e
▲ 10	0	▲ 2
▲ 5	4	▲ 1
▲ 15	4	▲ 3
▲ 10	2	2
▲ 7	1	▲ 1
▲ 17	3	1
▲ 5	▲ 4	▲ 1
▲ 1	▲ 1	▲ 1
19	1	1

経常利益差異内訳

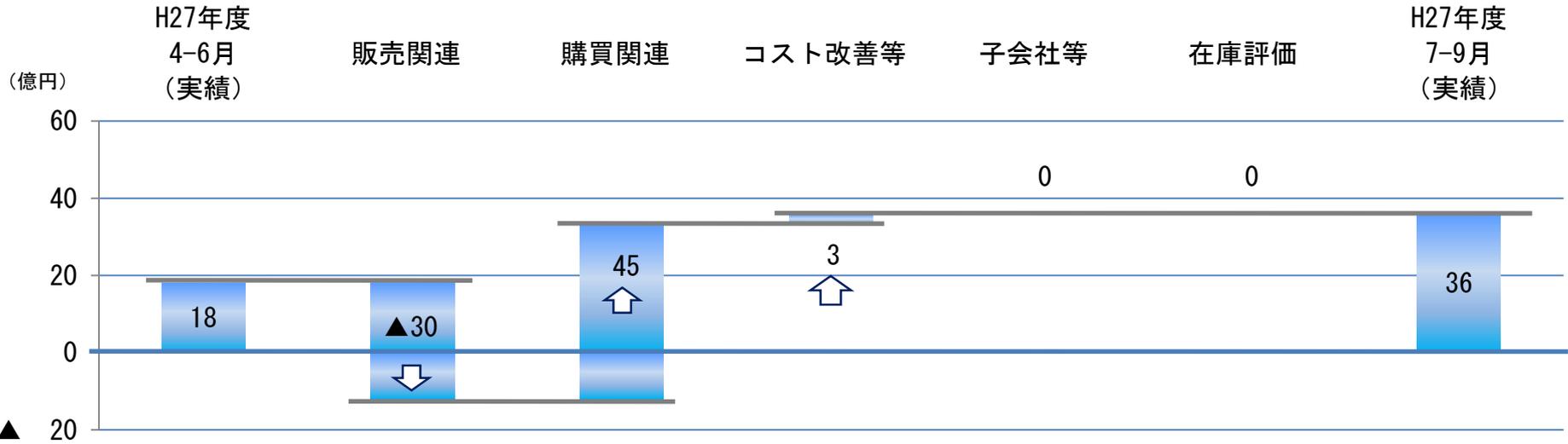
H26年度上期(実績):H27年度上期(実績)



H26年度上期(実績)		83	変動要因	10
変動要因	販売関連	▲90	数量構成差▲45、価格差▲90、輸出為替差45	0
	購買関連	150	鉄鉱石150、石炭15、油類60、ニッケル原料55、輸入為替差▲140	20
	コスト改善等	6	合理化等	5
	子会社等	▲35		▲20
	在庫評価	▲60	10→▲50(内ステンレス25→▲30)	▲55
計		▲29		▲50
H27年度上期(実績)		54		▲40

経常利益差異内訳

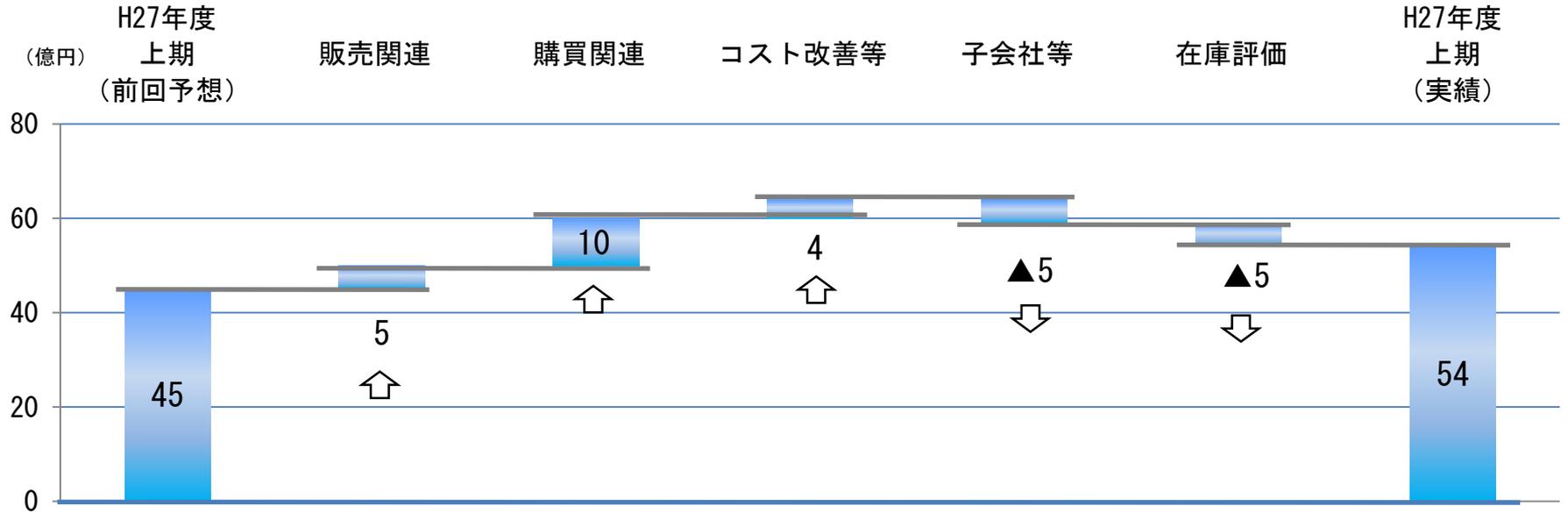
H27年度4-6月(実績):H27年度7-9月(実績)



H27年度4-6月 (実績)		18	変動要因	▲ 20
変動要因	販売関連	▲ 30	数量構成差 5、価格差 ▲35	▲ 15
	購買関連	45	鉄鉱石 15、石炭 10、ニッケル原料 15、油類 5	15
	コスト改善等	3	合理化等	0
	子会社等	0		0
	在庫評価	0	▲25→▲25 (内ステンレス ▲15→▲15)	0
計		18		0
H27年度7-9月 (実績)		36		▲ 20

経常利益差異内訳

H27年度上期(前回予想):H27年度上期(実績)



(億円) (内ステンス)

H27年度上期 (前回予想)		45	変動要因	▲ 40
変動要因	販売関連	5	価格差 5	0
	購買関連	10	油類 5、ニッケル原料 5	5
	コスト改善等	4	合理化等	0
	子会社等	▲ 5		0
	在庫評価	▲ 5	▲45→▲50 (内ステンス ▲25→▲30)	▲ 5
	計	9		0
H27年度上期 (実績)		54		▲ 40

貸借対照表 (H27年9月末)

(億円)

		対H27/3末		主な内訳
現預金	234	▲	28	
売上債権	738	▲	52	売上減少
たな卸資産	1,425	▲	16	
その他流動資産	237	▲	71	
有形・無形固定資産	2,841		63	
投資等	2,046	▲	77	株式含み益の減少 他
資産合計	7,523	▲	181	

有利子負債	2,852	▲	45	
その他の負債	2,030	▲	57	
負債合計	4,882	▲	103	
資本金・資本剰余金	1,063	▲	147	利益剰余金へ振替▲123、配当▲43
利益剰余金	884		142	資本剰余金から振替 123、 親会社株主に帰属する四半期純利益 20
自己株式	▲ 5	▲	0	
その他の包括利益累計額	624	▲	57	
非支配株主持分	74	▲	16	
純資産合計	2,641	▲	78	
負債・純資産合計	7,523	▲	181	

平成27年度業績予想

(億円)

	No	H27年度			H27年度
		上期(実績) a	下期(予想) b	(今回予想) c	(前回予想) d
売上高	1	2,767	2,843	5,610	5,770
営業利益	2	63	62	125	145
経常利益	普通鋼・特殊鋼	94	96	190	185
	ステンレス	▲ 40	▲ 55	▲ 95	▲ 65
	計	54	41	95	120
親会社株主に帰属する当期純利益	6	20	25	45	80

差異	
① b-a	② c-d
76	▲ 160
▲ 1	▲ 20
2	5
▲ 15	▲ 30
▲ 13	▲ 25
5	▲ 35

在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	▲ 20	▲ 20	▲ 40	▲ 30
	ステンレス	8	▲ 30	▲ 15	▲ 45	▲ 35
	計	9	▲ 50	▲ 35	▲ 85	▲ 65

0	▲ 10
15	▲ 10
15	▲ 20

<実カベース>

経常利益	普通鋼・特殊鋼	10	114	116	230	215
	ステンレス	11	▲ 10	▲ 40	▲ 50	▲ 30
	計	12	104	76	180	185

2	15
▲ 30	▲ 20
▲ 28	▲ 5

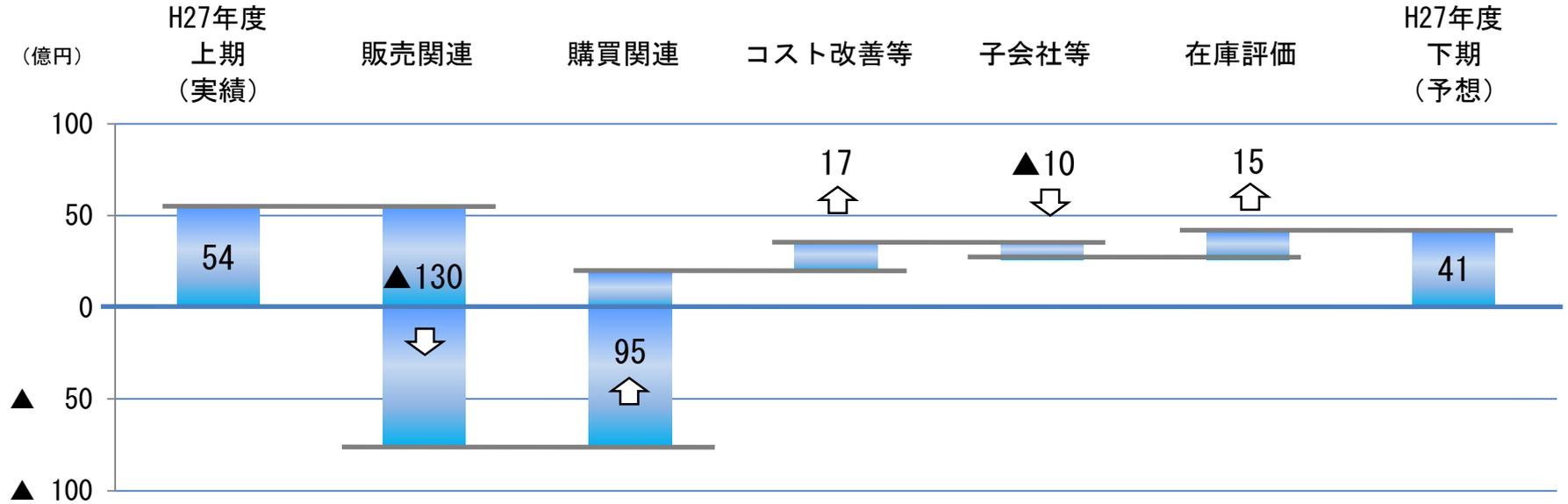
平成27年度業績予想諸元

		No	H27年度			H27年度
			上期(実績) a	下期(予想) b	(今回予想) c	(前回予想) d
粗鋼生産量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	1	158	164	322	320
	ステンレス	2	34	32	66	68
	計	3	192	196	388	388
販売数量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	4	150	154	304	306
	ステンレス	5	25	28	53	55
	計	6	175	182	357	361
鋼材平均単価 (千円/トン)		7	122	115	118	122
輸出比率 (金額ベース, %)		8	16	15	16	17
輸出為替レート (円/ドル)		9	122	120	121	120

差異	
① b-a	② c-d
6	2
▲ 2	▲ 2
4	0
4	▲ 2
3	▲ 2
7	▲ 4
▲ 7	▲ 4
▲ 1	▲ 1
▲ 2	1

経常利益差異内訳

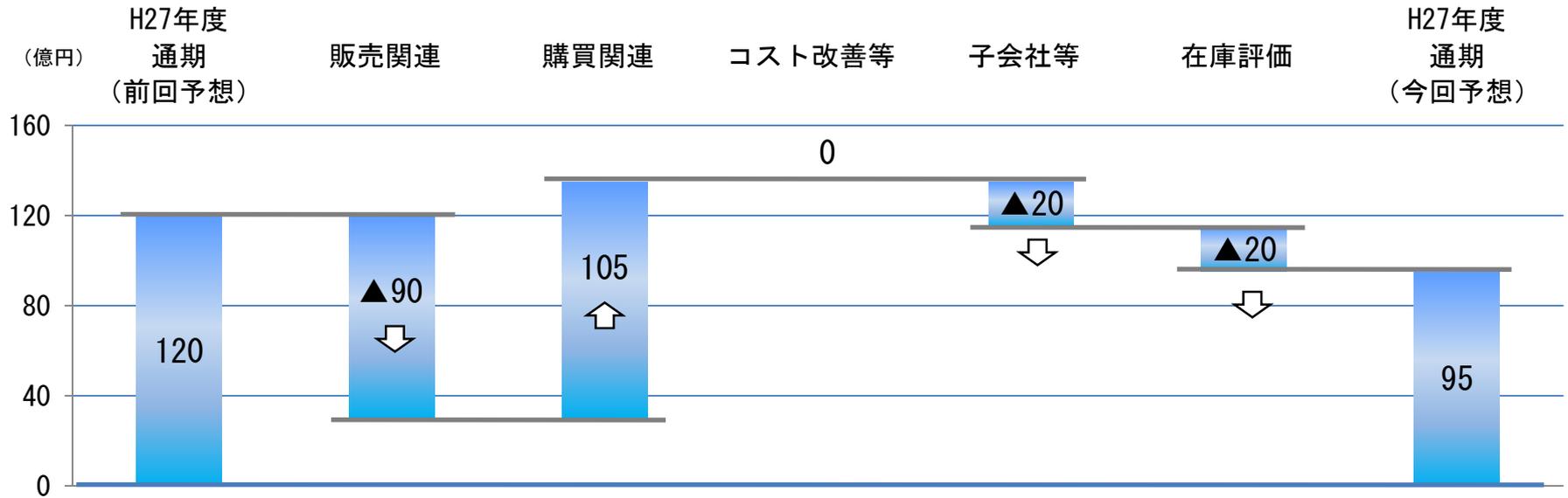
H27年度上期(実績):H27年度下期(予想)



		(億円)		(内ステンレス)	
H27年度上期 (実績)		54	変動要因		▲ 40
変動要因	販売関連	▲ 130	数量構成差 0、価格差 ▲130		▲ 70
	購買関連	95	鉄鉱石 25、石炭 20、油類 10、ニッケル原料 30		40
	コスト改善等	17	合理化等		10
	子会社等	▲ 10			▲ 10
	在庫評価	15	▲50→▲35 (内ステンレス▲30→▲15)		15
計		▲ 13			▲ 15
H27年度下期 (予想)		41			▲ 55

経常利益差異内訳

H27年度通期(前回予想):H27年度通期(今回予想)



H27年度通期(前回予想)		120	変動要因	▲65
変動要因	販売関連	▲90	数量構成差▲15、価格差▲75	▲70
	購買関連	105	鉄鉱石 20、ニッケル原料 50、油類 20	60
	コスト改善等	0		0
	子会社等	▲20		▲10
	在庫評価	▲20	▲65→▲85 (内ステンレス ▲35→▲45)	▲10
計		▲25		▲30
H27年度通期(今回予想)		95		▲95

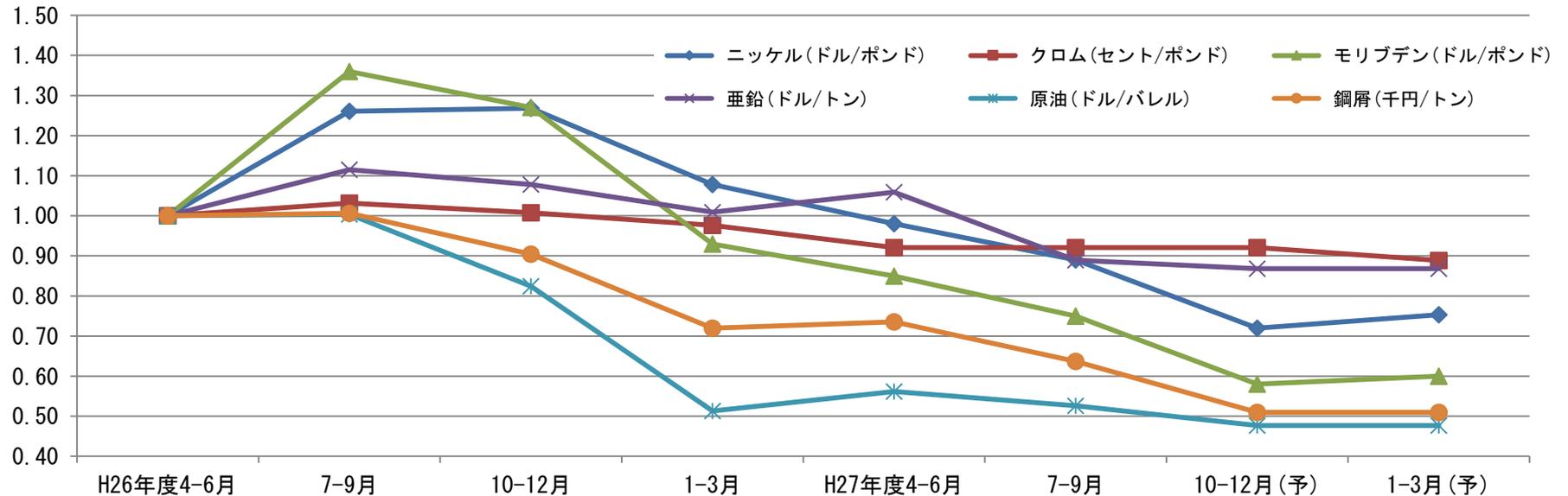
(ご参考)
主要データ



購買市況(適用ベース)

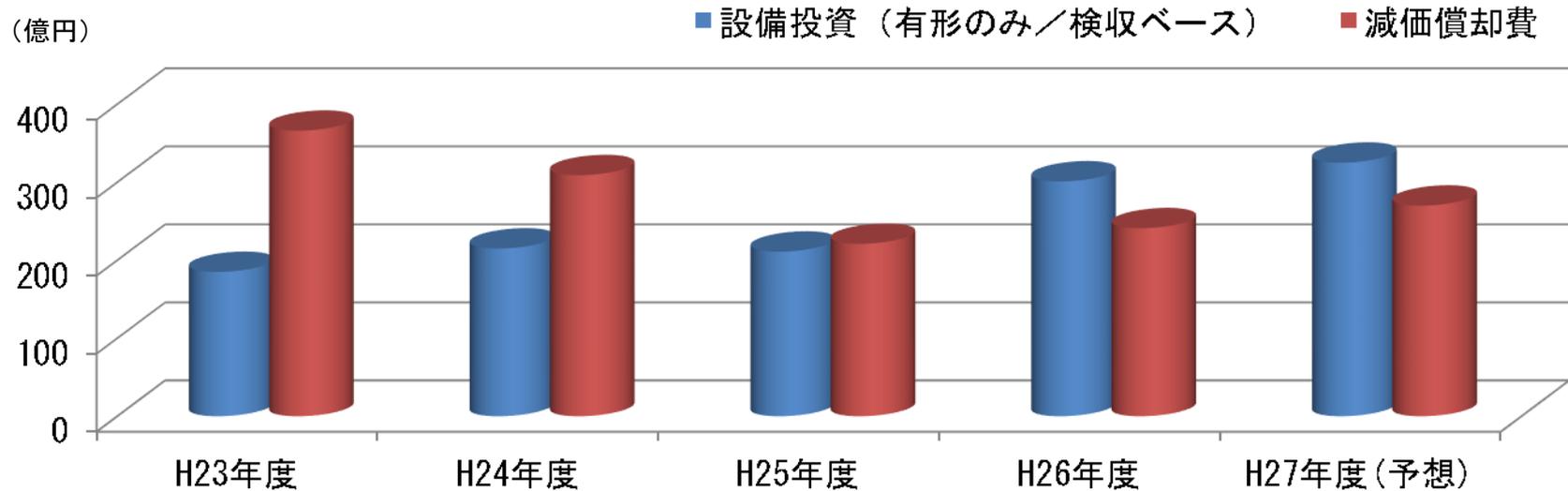
	H26年度							H27年度						
	上期			下期			平均	上期			下期			平均(予想)
	4-6月	7-9月	平均	10-12月	1-3月	平均		4-6月	7-9月	平均	10-12月(予想)	1-3月(予想)	平均(予想)	
	4-6月	7-9月	平均	10-12月	1-3月	平均	4-6月	7-9月	平均	10-12月(予想)	1-3月(予想)	平均(予想)	平均(予想)	
ニッケル(ドル/ポンド)	6.64	8.37	7.51	8.42	7.16	7.79	7.65	6.51	5.91	6.21	4.78	5.00	4.89	5.55
クロム(セント/ポンド)	126.0	130.0	128.0	127.0	123.0	125.0	126.5	116.0	116.0	116.0	116.0	112.0	114.0	115.0
モリブデン(ドル/ポンド)	10.0	13.6	11.8	12.7	9.3	11.0	11.4	8.5	7.5	8.0	5.8	6.0	5.9	7.0
亜鉛(ドル/トン)	2,073	2,311	2,192	2,235	2,092	2,164	2,178	2,195	1,844	2,020	1,800	1,800	1,800	1,910
原油(ドル/バレル)	104.9	105.3	105.1	86.5	53.8	70.1	87.6	58.9	55.2	57.1	50.0	50.0	50.0	53.5
鋼屑(千円/トン)	31.4	31.6	31.5	28.4	22.6	25.5	28.5	23.1	20.0	21.6	16.0	16.0	16.0	18.8

購買市況の推移 (H26年度4-6月を1.00)



設備投資・減価償却費

※H23年度は旧日新製鋼連結

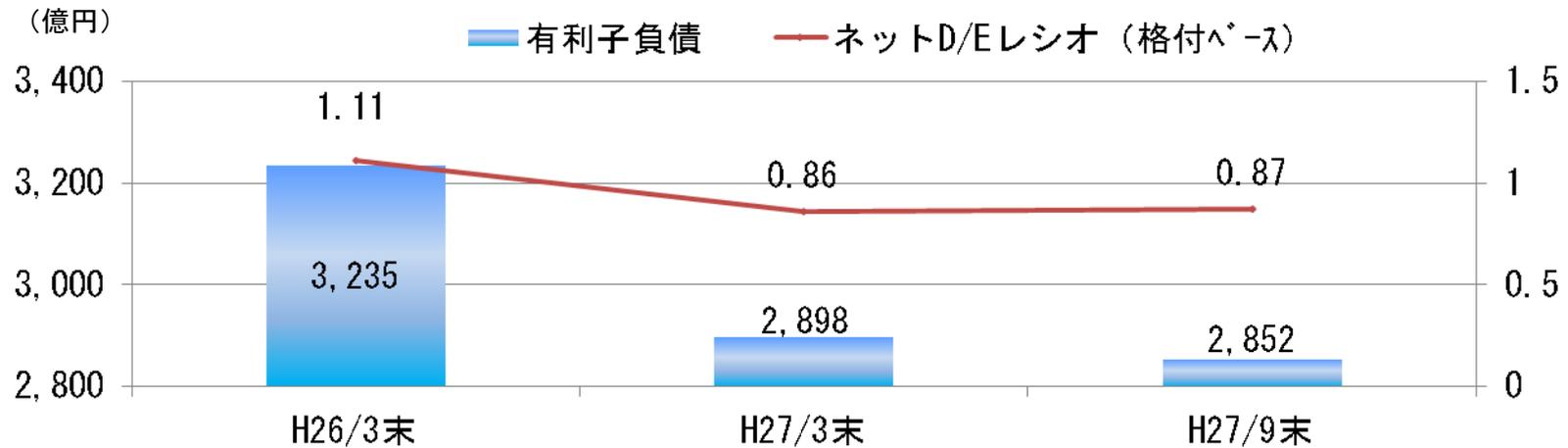


(億円)

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度 (予想)
設備投資	185	215	211	301	325
減価償却費	366	309	221	241	265

※設備投資額は有形のみ／検収ベース

有利子負債・ネットD/Eレシオ（格付けベース）



	H26/3末	H27/3末	H27/9末
手許預金 (億円)	408	263	234
有利子負債 (億円)	3,235	2,898	2,852
ネットD/Eレシオ	1.36	1.00	1.02
〃 (格付けベース) ※	1.11	0.86	0.87

※ 日本格付研究所の格付評価上、資本性が認められるハイブリッド証券/ハイブリッドローンについて、元本の50%を資本とみなした場合のネットD/Eレシオ
 (H26/3末は500億円の50%、H27/3末およびH27/9末は400億円の50%を、それぞれ資本に算入)